



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月11日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 リンガーハット

コード番号 8200 URL <http://www.ringerhut.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋本 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部兼品質保証チーム担当 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	9,094	△0.7	338	△19.7	312	△20.0	35	△82.9
26年2月期第1四半期	9,158	7.5	421	74.8	390	85.1	205	29.5

(注)包括利益 27年2月期第1四半期 37百万円 (△84.3%) 26年2月期第1四半期 238百万円 (56.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	1.59	—
26年2月期第1四半期	9.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	24,934	10,798	43.3	489.32
26年2月期	24,410	10,871	44.5	492.65

(参考)自己資本 27年2月期第1四半期 10,798百万円 26年2月期 10,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 2月期の連結業績予想(平成26年 3月 1日～平成27年 2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,200	0.3	800	35.4	750	39.8	350	11.0	16.00
通期	37,000	0.7	2,000	12.5	1,900	13.7	750	6.0	34.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期1Q	22,067,972 株	26年2月期	22,067,972 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年2月期1Q	449 株	26年2月期	199 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期1Q	22,067,609 株	26年2月期1Q	22,057,792 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2)本資料のサマリー情報、【添付資料2ページ「経営成績に関する説明」及び9ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済環境は、政府による経済・金融政策推進を背景に、企業収益や個人消費に改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調にあります。その一方で、消費税の増税、節約志向による消費低迷の懸念など、先行きは依然として不透明な情勢が続いております。

外食産業におきましては、個人消費に回復の兆しはみられるものの、原材料価格の高騰や業種・業態を超えた厳しい競争状態が依然として続いております。

このような状況の中、当社グループは『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、強固な企業体質づくりに取組んでまいりました。

国内の店舗の出店及び退店につきましては、当第1四半期連結累計期間中に「長崎ちゃんぽんリンガーハット」を16店舗出店し5店舗退店いたしました。「とんかつ浜勝」は1店舗出店し1店舗退店いたしました。また、海外ではタイ国3店舗の内2店舗を退店いたしました。その結果、当社グループ合計で平成26年5月末の店舗数は前期末より9店舗増加し、国内652店舗、海外7店舗の計659店舗となりました。(内直営464店舗、FC195店舗)

店舗売上高につきましては、特にリンガーハットにおいて前年のTV放映と消費税増税後の反動の影響が大きく、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は97.9%となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は90億94百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益は3億38百万円(同19.7%減)、経常利益は3億12百万円(同20.0%減)、四半期純利益は35百万円(同82.9%減)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

リンガーハットでは、国産野菜・国産小麦粉100%使用を前面に打ち出した「野菜たっぷりシリーズ」の販売促進や夏向けメニューの「冷やしちゃんぽん」「野菜つけめん」「黒酢冷麺」を新発売し売上増加を図りました。

しかしながら、前年度のTV放映の反動や消費税増税後の客数減少を挽回しきれず当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は95.4%となりました。

以上の結果、売上高は67億41百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益は1億72百万円(同33.2%減)となりました。

(とんかつ事業)

浜勝では、お客さまに喜ばれる調理・サービスを実践するために、調理・サービスのトレーニングを徹底して取り組んでまいりました。また、健康志向ニーズに対応した食材や女性のお客さまをターゲットに手作りの「デザートビュッフェ」を導入する等の販売施策を図っており、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比は106.2%と順調に推移しております。

以上の結果、売上高は22億98百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は1億25百万円(同0.8%増)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業の「リンガーハット開発株式会社」につきましては、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第1四半期連結累計期間の売上高は4億円(前年同期比1.8%減)、営業利益39百万円(同4.0%増)となりました。

なお、前連結会計年度まで区分掲記しておりました「和食事業」につきましては、会社組織の変更に伴い、当第1四半期連結累計期間より「とんかつ事業」に含めて表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ531百万円増加し24,941百万円となりました。これは主に、ショッピングセンター店舗の売上金の増加に伴う未収入金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ597百万円増加し14,136百万円となりました。これは主に未払費用の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ66百万円減少し10,805百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月11日に発表した前回予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,474,540	1,420,051
売掛金	490,531	577,833
未収入金	419,594	765,887
商品及び製品	46,270	63,631
仕掛品	11,466	12,720
原材料及び貯蔵品	268,892	277,943
前払費用	292,510	339,568
繰延税金資産	52,181	52,064
その他	146,729	200,447
流動資産合計	3,202,717	3,710,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,596,041	7,699,955
機械装置及び運搬具(純額)	771,396	749,239
土地	5,743,090	5,594,070
リース資産(純額)	242,323	234,331
建設仮勘定	22,932	39,533
その他(純額)	454,858	464,431
有形固定資産合計	14,830,644	14,781,562
無形固定資産	207,451	315,079
投資その他の資産		
投資有価証券	1,435,342	1,431,327
差入保証金	997,025	978,906
建設協力金	219,730	200,248
敷金	2,492,567	2,509,988
繰延税金資産	704,913	709,633
その他	342,325	320,184
貸倒引当金	△22,605	△22,605
投資その他の資産合計	6,169,299	6,127,681
固定資産合計	21,207,396	21,224,323
資産合計	24,410,113	24,934,471

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	747,783	853,913
短期借入金	2,180,000	2,764,000
1年内返済予定の長期借入金	1,920,076	1,862,376
1年内償還予定の社債	220,000	220,000
未払金	489,114	545,026
未払費用	903,216	1,235,191
リース債務	80,434	86,346
未払法人税等	311,986	93,416
未払消費税等	204,729	245,360
株主優待引当金	60,640	48,273
店舗閉鎖損失引当金	12,107	16,253
販売促進引当金	7,710	3,397
資産除去債務	12,258	12,258
その他	230,831	346,786
流動負債合計	7,380,890	8,332,600
固定負債		
社債	260,000	220,000
長期借入金	2,840,042	2,501,798
長期未払金	419,063	420,895
リース債務	231,066	254,547
繰延税金負債	11,186	11,186
退職給付引当金	940,766	912,897
長期預り保証金	421,945	427,803
資産除去債務	1,007,551	1,031,068
その他	25,882	23,348
固定負債合計	6,157,505	5,803,546
負債合計	13,538,396	14,136,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,066,122	5,066,122
資本剰余金	4,486,935	4,486,935
利益剰余金	1,182,038	1,106,710
自己株式	△278	△634
株主資本合計	10,734,817	10,659,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,997	122,811
為替換算調整勘定	20,901	16,379
その他の包括利益累計額合計	136,899	139,190
純資産合計	10,871,717	10,798,324
負債純資産合計	24,410,113	24,934,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	8,814,952	8,722,675
売上原価	2,880,493	2,959,126
売上総利益	5,934,459	5,763,549
その他の営業収入	344,016	372,096
営業総利益	6,278,475	6,135,646
販売費及び一般管理費	5,856,521	5,796,954
営業利益	421,954	338,691
営業外収益		
受取利息	1,882	1,340
受取配当金	38	56
保険解約返戻金	4,663	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	4,000	—
その他	2,174	3,556
営業外収益合計	12,758	4,952
営業外費用		
支払利息	28,128	21,567
持分法による投資損失	8,615	4,133
その他	7,026	5,215
営業外費用合計	43,770	30,916
経常利益	390,941	312,728
特別利益		
収用補償金	—	395
特別利益合計	—	395
特別損失		
固定資産売却損	—	108,569
固定資産除却損	5,705	6,764
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	4,260
減損損失	—	9,854
貸倒引当金繰入額	8,991	—
特別損失合計	14,696	129,448
税金等調整前四半期純利益	376,245	183,674
法人税等	170,807	149,138
少数株主損益調整前四半期純利益	205,437	34,535
少数株主損失(△)	—	△476
四半期純利益	205,437	35,011

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	205,437	34,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,927	6,813
為替換算調整勘定	4,021	△1,889
持分法適用会社に対する持分相当額	2,680	△2,157
その他の包括利益合計	32,628	2,766
四半期包括利益	238,066	37,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,066	37,302
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	6,927,667	2,162,772	68,529	9,158,969	—	9,158,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	338,965	338,965	△338,965	—
計	6,927,667	2,162,772	407,494	9,497,934	△338,965	9,158,969
セグメント利益	257,756	124,695	37,850	420,302	1,651	421,954

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	6,741,124	2,298,895	54,752	9,094,772	—	9,094,772
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	345,580	345,580	△345,580	—
計	6,741,124	2,298,895	400,333	9,440,353	△345,580	9,094,772
セグメント利益	172,104	125,675	39,352	337,132	1,559	338,691

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの変更等に関する情報

当第1四半期連結累計期間より、会社組織の変更に伴い報告セグメントとして記載する事業セグメント「和食」を「とんかつ」に含めて表示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中に退店が決定した店舗等に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は9,854千円であります。

5. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
平成26年 2月期 第1四半期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	5,574	2,373	7,948	2,105	406	2,512	87	120	10,668
	店舗数 (店)	378	176	554	86	19	105	—	—	659
平成25年 2月期 第1四半期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	5,960	1,929	7,889	1,990	359	2,349	76	111	10,427
	店舗数 (店)	393	143	536	87	18	105	—	—	641
対前年比率	売上高	93.5%	123.0%	100.7%	105.8%	113.2%	106.9%	113.9%	107.5%	102.3%
	店舗数	96.2%	123.1%	103.4%	98.9%	105.6%	100.0%	—	—	102.8%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として揭示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。